

目 標 達 成 計 画

事業所名グループホームゆうゆう・多賀城 ふじ
作成日 令和4年2月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	55	職員の気づきが足りず防げたかもしれない事故が起きてしまった	利用者様の安心安全な生活を支援する	<ul style="list-style-type: none"> ・気づいたことをヒヤリハットで共有 ・再発防止策の話し合いと共有 ・リスクを担当者がまとめ日々のミーティングで話し合う ・必要な対応ごとにチェック表等を活用していく 	令和4年2月～1年間
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加すること。

目 標 達 成 計 画

事業所名グループホームゆうゆう・多賀城 もえぎ
作成日 令和4年2月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	運営推進会議がコロナ禍にて、書面での報告となり、ご家族や地域との関係性が希薄になりつつある	地域の中でその人らしい生活ができるように支援していく	・運営推進会議の報告書に委員会活動等の情報を盛り込む ・ご家族や地域の方にご意見やご要望をお伺いできるような報告書作りを工夫する	令和4年2月～1年間
2	48	出来なくなっていくことが増えていく中、できることへの視点が不足しがちになっている	生活の質の向上を意識した支援ができる	・カンファレンス時のニーズや課題の抽出時、できることや好きなことの記載も盛り込み、共有する ・できることや好きなことを積極的にケアプランに反映できるよう話し合いを行う ・反映したプランを実践し、モニタリングを行い共有する	令和4年2月～1年間
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。

目 標 達 成 計 画

事業所名グループホームゆうゆう・多賀城 もも
作成日 令和4年2月1日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	33	終末期について話し合いは行っているが「いざ」その時期が来た時のご家族様の思いの変化や、今、往診でできること等共有できていなかったり説明不足やスタッフが間に入り、情報が伝わらないなどの課題がある	介護、医療、家族の連携が取れて終末期を支援できる体制を作っていく	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の情報共有の徹底（介護・医療・家族） ・家族への意向の確認（ケアプラン更新の説明時、定期的に） ・看取りについての勉強会 ・スタッフ間での定期会議 ・アセスメントの見直し 	令和4年2月～1年間
2					
3					
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加すること。